

野活アウトドアキッズ①

2026

活動報告



広島市青少年野外活動センター・こども村

2026/5/20作成

実施概要

【目的】

小学校中～高学年を対象に、豊かな自然の中で、異学校・異学年の仲間たちや大学生ボランティアスタッフとの出会いや関わり合いを通じて、新たな価値の発見や心の成長を目指す事業です。

また、青少年指導者の育成の場として、こどもたちへの声掛けや関わり方を学ぶための教育実践の機会を提供することも目的としています。

【定員・応募者数】

小学4～6年生 10人・応募者 13人

【参加者・ボランティアスタッフ】

小学4～6年生 6人・ボランティアスタッフ 8人

【告知の方法】

- ・青少年野外活動センター・こども村 WEB サイトへチラシの掲載

【ボランティア募集案内】

ボランティア募集中!!
自然の中で自分を高めよう!

参加費 集めません

第1回 野活 アウトドアキッズ

午前実践 午後研修!

どんなことをするの?

午前はこどもたちと一緒に牛頭山(689M)に登ります。登山道の歩き方やこどもたちを守るポイントを学びます。下山後は、いちごの収穫体験をします。午後からは、学習作りや組織作りで活用できるレクリエーションを体験しながら学びます。



野外活動センターって どんどころ?

青少年の自然の中での活動を支援する施設です。自然・人・地域とのふれあいを通じて、青年や子どもたちの「社会性」や「人を思いやる心」を育みます。



公益財団法人広島市文化財団
広島市青少年野外活動センター・こども村
〒731-1171 広島県広島市安佐北区安佐町小河内5135 TEL.082-835-1444
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/yagai-ac/>

広島市 野外教育 検索



【参加者募集案内】

参加者募集中!!
登山に挑戦しよう!

参加費 100円

第1回 野活 アウトドアキッズ

例：課題目標をつくる
Objective (目標) : 「登山、本を読もう」になる。
Key Results (成果指標) :
1. 毎日10分以上歩く。(1週間続けろ)
2. 1週間2回、本を読もう。
3. 登山道の感想を1日1回書く。

どんなことをするの?

牛頭山(689M)に登ります。登頂後、目標設定(どうなりたいか)と目標達成のための手立て(どう頑張ればいいのか)について考える時間を設けています。登山の経験を踏まえて、「何を達成したいか(Objective)」と、それをどう測るか(Key Results)を考える手法をレクチャーします!



野外活動センターって どんどころ?

青少年の自然の中での活動を支援する施設です。自然・人・地域とのふれあいを通じて、青年や子どもたちの「社会性」や「人を思いやる心」を育みます。



公益財団法人広島市文化財団
広島市青少年野外活動センター・こども村
〒731-1171 広島県広島市安佐北区安佐町小河内5135 TEL.082-835-1444
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/yagai-ac/>

広島市 野外教育 検索



開催までの流れ

- 2026/3/20 参加者の募集開始
- 2026/4/8 登録ボランティアスタッフへボランティアの募集を案内
- 2026/4/29 参加者の申込み締め切り
- 2026/5/6 ボランティアスタッフの申込み締め切り
- 2026/5/16 実施日

当日のスケジュール

| 5月16日(土) | | 参加者 | 保護者 | ボランティア |
|----------|------------|-----|-----|--------|
| 9:10 | スタッフミーティング | | | ● |
| 10:00 | はじめのつどい | ● | ● | ● |
| 10:10 | 牛頭山登山 | ● | | ● |
| 12:30 | いちごの収穫体験 | ● | ● | ● |
| 14:00 | レクリエーション実技 | | | ● |
| 16:00 | ふりかえり | | | ● |
| 16:30 | 解散 | | | |

5月16日(土)

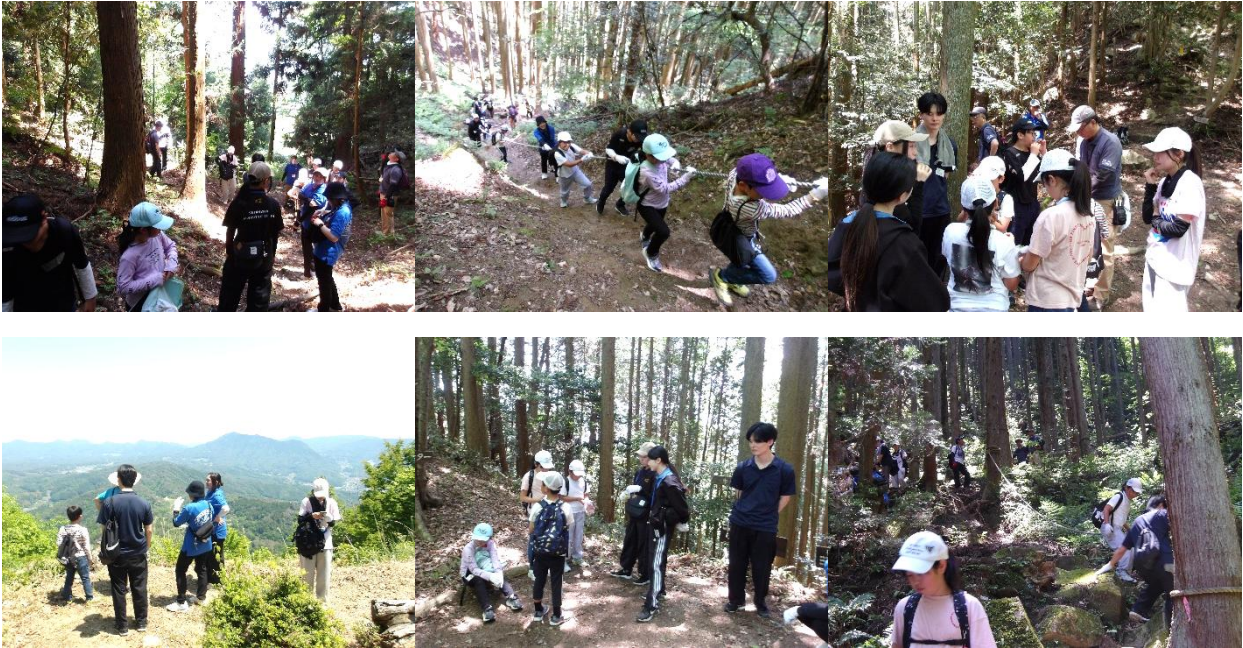
■スタッフミーティング 担当：シュガー (内容)

青少年野外活動センターでのボランティア活動に初めて参加するメンバーが半数いたため、交流を促すための仲間作りゲームをしてからスタートしました。



■牛頭山登山 担当：シュガー 植物の観察・解説：さむじい (内容)

はじめのつどいでアイスブレイクをしてから牛頭山に向かいました。牛頭山入り口では、クマに出会わないように人間の存在を知らせる発声をしたり、1人1人がクマ鈴を携帯して、山の中を歩きました。登山中の休憩地では、高級つまようじの材料を採集して嗅いでみたり、ツバキの葉っぱで笛を作ってみたり、みちくさをしながら山頂まで登りました。



■いちごの収穫体験 担当：さむじい

(内容)

イベント終了後に任意参加で親子での「いちごの収穫体験」を実施しました。こども村の収穫物の活用と利用促進を目的とした初めての試みでした。イベント終了後の任意参加の体験活動でしたが、全家族が参加することとなりました。



■レクリエーション実技 講師：奥田栄彦氏

(内容)

講義と実技を通じてレクリエーションについて学びました。講義では、マズローの欲求段階説をもとに、ボランティア活動の意義について学びました。また、ジョハリの窓をもとに、人との関わり方について学びました。実技では、教室でできる簡単なアイスブレイクや、グループで取り組む課題解決型のゲームを体験しました。



安全に配慮した登山を行うための取り組みを紹介します

■登山道の安全に関わること

- ①牛頭山頂の整備（草刈り・中低木の間伐・低枝を剪定し木陰を確保）
- ②牛頭登山道の整備（倒木の撤去・落ち葉の除去・歩道の草刈り・ロープの強度確認）
- ③登山ルート・休憩場所の確認



定期的に登山道を確認し、積雪や強風による倒木や枯れ枝は職員が撤去しています。上の画像の支障木は、令和8年4月12日に業務部職員が撤去したものです。

■生き物（クマ・ハチ・ヘビ等）に関わること

- ①牛頭山山頂にクマ鈴の設置
- ②参加者・ボランティアスタッフにクマ鈴の貸与
- ③職員がカプサイシンスプレー・トランシーバー・携帯電話を携帯
- ④参加者とボランティアを挟んで先頭と最後尾に職員を配置し、先頭から50m先に別の職員を配置。



手作りのクマ鈴



カプサイシンスプレー